

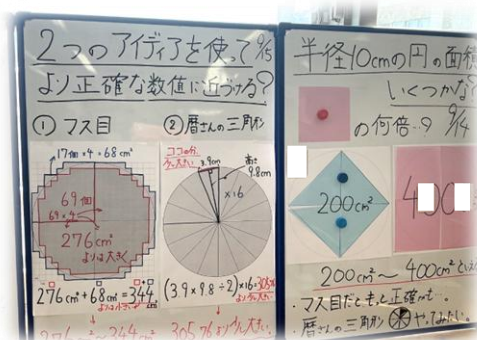
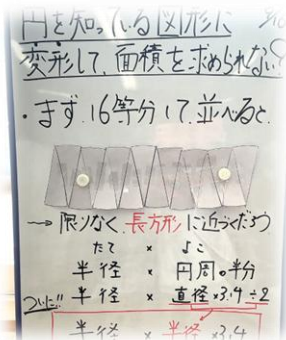
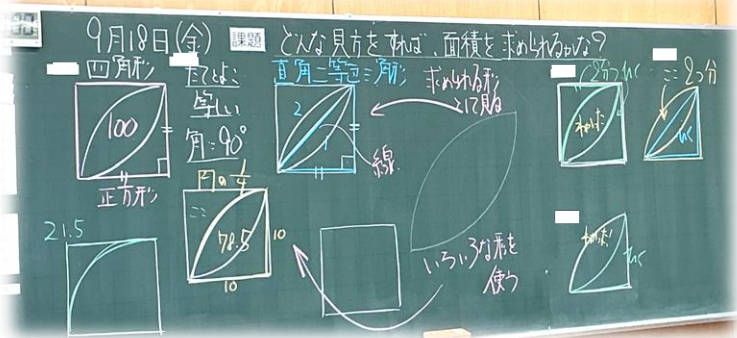
マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年9月24日(木) No.29
文責：情野 夏美

教科担任マイスター重点校 鶴岡市立大山小学校に行ってきました！

庄内地区の教科担任マイスター重点校 鶴岡市立大山小学校のマイスターの先生の授業研究会に参加してきました。6年算数「円の面積」の円を含む複合図形の面積の求め方を話し合う授業でした。子ども達の対話によって解決する時間を何度も確保されていて、既習の面積の求め方を活かし、一人でじっくりや友達と協力して課題を解決する姿がいきいきとしていました。私のふり返りから内容を報告します。

- 先生は、「図形の構成要素に着目する」という単元の目標を、問い返しや発問を通してずっと貫かれていたなと感じました。単元全体での教材研究や押さえておきたい大事なポイントを児童と共有することの大切さを改めて感じました。
- 私も同じ教科書で授業を行いました。教科書通り、ラグビーボールの周りに一辺10cmの正方形が書かれた図形を見せ、既習の正方形、三角形、円の1/4のそれぞれの面積を使って、求めさせたので、どのような授業展開をされるのか楽しみにして来ました。まず導入から驚きました。教科書通りの図形を見せるのではなく、コンパスでラグビーボールをかかれていて、児童のワクワク感が増したと思います。円の1/4をかく際に、中心を打ち、その中心が四角形の頂点になり、ワークシートにも記載されていて、つながりがあると感じました。
- 隣の人と話す時間や交流の時間を設けていて、いろいろな考えがどんどん出てきて面白いなと感じました。
- 机間指導の際に、核心に迫る声かけをされていたり、ある児童の困り感を拾って全体に投げかけたりするなど、まねしたいことばかりでした。
- 既習を残しておくことの必要感も感じました。板書や窓際にあった前時までの考えの掲示です。分からなくなったら、既習に立ち返って考えることができるので、視覚ですぐわかるものがあることは大切だなと感じました。



- 単元全体を通してつきたい力を明確にし、一時間単位ではなく、単元を通して力を養っていけるように、今後深い教材研究をしていきたいと感じました。たくさん刺激を受け、いい研修会でした。
- ★ICTの活用について感じたこと
パドレットでのふり返りを行っていました。全員分を共有・参照できていいと思いました。児童の考えも共有できると、交流の幅が広がりそうだなと感じました。